



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タダノ

コード番号 6395 URL <http://www.tadano.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田野 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理部部長 (氏名) 橋倉 荘六

TEL 087-839-5600

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	94,119	25.5	7,663	128.9	7,776	178.5	4,984	292.9
24年3月期第3四半期	74,970	25.9	3,347	—	2,792	—	1,268	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,619百万円 (498.1%) 24年3月期第3四半期 772百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	39.27	—
24年3月期第3四半期	9.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	166,243	81,587	48.6
24年3月期	161,176	78,518	48.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 80,832百万円 24年3月期 77,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	15.6	10,000	69.6	10,000	73.1	5,500	74.9	43.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 、 除外 1社 (社名) タダノ・ファウン GmbH
(注) 詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	129,500,355 株	24年3月期	129,500,355 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,570,660 株	24年3月期	2,546,528 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	126,941,171 株	24年3月期3Q	126,993,195 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速・エコカー補助金による政策効果の一巡等を受けて、減速が鮮明となっておりますが、新政権への期待を背景に年末にかけて進んだ株高・円安の流れにより、景気の先行きに明るい兆しが見えてまいりました。欧州経済は低迷しておりますが、中国等新興国のなかには持ち直しの動きもみられ、米国経済は緩やかに回復しております。

私どもの業界は、国内では老朽化による買い替えが進み、海外ではエネルギー・インフラ関連を中心に北米・アジア・豪州等で需要が増加しました。

国内売上高は、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、458億9千8百万円（前年同期比121.4%）となり、海外売上高は、旺盛な需要を背景に増加し、482億2千万円（前年同期比129.8%）となりました。この結果、総売上高は、941億1千9百万円（前年同期比125.5%）となりました。なお、海外売上高比率は、51.2%となりました。

経常利益につきましては、販売価格の適正化や売上増加にともなう粗利増加に加え、為替差益4億2千万円の計上もあり、77億7千6百万円（前年同期比278.5%）となりました。四半期純利益につきましては、49億8千4百万円（前年同期比392.9%）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

①日本

日本では、建設用クレーン・車両搭載型クレーン・高所作業車の売上が揃って増加し、売上高は778億9千6百万円（前年同期比118.2%）となり、営業損益は51億8千3百万円の利益（前年同期比211.7%）となりました。

②欧州

欧州では、建設用クレーンの売上が欧州域内・域外共に増加し、売上高は193億3千2百万円（前年同期比124.1%）となり、営業損益は6億7千1百万円の利益（前年同期3千6百万円の損失）となりました。

③米州

米州では、建設用クレーンの大幅な売上増加により、売上高は170億9千8百万円（前年同期比157.8%）となり、営業損益は14億4千3百万円の利益（前年同期比437.4%）となりました。

④その他

その他地域では、建設用クレーンの売上増加により、売上高は87億7千6百万円（前年同期比137.1%）となり、営業損益は5億8千万円の利益（前年同期比92.0%）となりました。

主要品目別の状況は次のとおりです。

①建設用クレーン

国内売上につきましては、老朽化による買い替えが進むなか、引続き販売価格の適正化に取り組み、156億5百万円（前年同期比125.3%）となりました。

海外売上につきましては、北米・アジア・豪州等の旺盛な需要を背景に、391億9千2百万円（前年同期比134.9%）となりました。

この結果、建設用クレーンの売上高は、547億9千7百万円（前年同期比132.0%）となりました。

②車両搭載型クレーン

国内売上につきましては、トラック需要の増加に加え、トラックへの搭載率の上昇もあり、100億8千2百万円（前年同期比142.6%）となりました。

海外売上につきましては、10億1百万円（前年同期比105.6%）となりました。

この結果、車両搭載型クレーンの売上高は、110億8千3百万円（前年同期比138.2%）となりました。

③高所作業車

電力電工向けの落ち込みもありましたが、需要回復が顕著なレンタル業界向けを中心に販売注力し、高所作業車の売上高は、88億2千1百万円（前年同期比115.0%）となりました。

④その他

部品、修理、中古車等のその他の売上高は、194億1千7百万円（前年同期比109.2%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

総資産は、前連結会計年度末に比べ50億6千6百万円増加の1,662億4千3百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少24億6千6百万円及び受取手形及び売掛金の減少38億7百万円がありましたが、たな卸資産の増加115億7千6百万円があったことによるものです。

(負債の状況)

負債は、前連結会計年度末に比べ19億9千7百万円増加の846億5千5百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少65億7千1百万円がありましたが、支払手形及び買掛金の増加23億7千7百万円、短期借入金の増加60億5千2百万円があったことによるものです。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末に比べ30億6千9百万円増加の815億8千7百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の減少2億1千7百万円がありましたが、利益剰余金の増加34億6千1百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ第4四半期売上に対する円高修正の影響は限定的であるため、通期売上高は前回予想通りとし、利益については第3四半期実績値を踏まえ、昨年10月26日発表の通期業績予想を次のとおり修正することとしました。

平成25年3月期通期連結業績予想値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	132,000	8,500	7,500	4,700	37.03
今回発表予想 (B)	132,000	10,000	10,000	5,500	43.33
増減額 (B-A)	0	1,500	2,500	800	
増減率 (%)	—	17.6%	33.3%	17.0%	
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	114,209	5,895	5,778	3,145	24.77

なお、第4四半期の為替レートは、88円/米ドル、115円/ユーロを前提としております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、タダノ・ファウン GmbH は平成24年5月11日付でファウン GmbH に吸収合併され消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社であるファウン GmbH は同日付でタダノ・ファウン GmbH に商号変更しております。

また、合併の効力は平成24年1月1日に遡って発生しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、従来の方法に比した当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,225	37,758
受取手形及び売掛金	35,041	31,234
商品及び製品	17,912	23,582
仕掛品	9,253	13,323
原材料及び貯蔵品	7,039	8,875
繰延税金資産	1,905	2,033
短期貸付金	1,136	919
その他	2,010	3,327
貸倒引当金	△480	△846
流動資産合計	114,045	120,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,314	8,888
機械装置及び運搬具(純額)	2,617	2,653
土地	19,704	19,994
リース資産(純額)	385	362
建設仮勘定	475	1,055
その他(純額)	951	1,002
有形固定資産合計	33,449	33,957
無形固定資産	867	762
投資その他の資産		
投資有価証券	6,234	5,885
繰延税金資産	4,089	2,981
その他	2,914	2,857
貸倒引当金	△423	△410
投資その他の資産合計	12,813	11,314
固定資産合計	47,130	46,034
資産合計	161,176	166,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,331	30,708
短期借入金	7,568	13,620
リース債務	204	219
未払法人税等	805	1,671
引当金	960	1,080
未払金	2,843	2,602
割賦利益繰延	353	224
その他	3,412	2,913
流動負債合計	44,480	53,040
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	9,883	3,312
リース債務	445	406
繰延税金負債	164	163
再評価に係る繰延税金負債	2,455	2,455
退職給付引当金	4,704	4,751
その他	525	526
固定負債合計	38,177	31,614
負債合計	82,657	84,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,021	13,021
資本剰余金	16,846	16,846
利益剰余金	55,454	58,915
自己株式	△2,228	△2,242
株主資本合計	83,094	86,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,016	799
土地再評価差額金	294	294
為替換算調整勘定	△6,701	△6,803
その他の包括利益累計額合計	△5,389	△5,708
少数株主持分	813	754
純資産合計	78,518	81,587
負債純資産合計	161,176	166,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	74,970	94,119
売上原価	57,552	70,437
割賦販売利益繰延前売上総利益	17,417	23,682
割賦販売未実現利益戻入額	253	185
割賦販売未実現利益繰入額	49	55
売上総利益	17,621	23,811
販売費及び一般管理費	14,274	16,148
営業利益	3,347	7,663
営業外収益		
受取利息	61	61
割賦販売受取利息	114	50
受取配当金	127	126
負ののれん償却額	1	—
為替差益	—	420
その他	163	204
営業外収益合計	468	863
営業外費用		
支払利息	470	416
貸倒引当金繰入額	—	209
為替差損	430	—
その他	121	125
営業外費用合計	1,022	750
経常利益	2,792	7,776
特別利益		
固定資産売却益	92	0
投資有価証券売却益	—	0
退職給付制度改定益	51	—
特別利益合計	144	1
特別損失		
固定資産除売却損	9	46
会員権評価損	—	3
特別損失合計	9	49
税金等調整前四半期純利益	2,927	7,728
法人税、住民税及び事業税	578	1,697
法人税等調整額	1,034	1,091
法人税等合計	1,612	2,788
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314	4,939
少数株主利益又は少数株主損失(△)	45	△44
四半期純利益	1,268	4,984

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,314	4,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	△217
土地再評価差額金	348	—
為替換算調整勘定	△716	△102
その他の包括利益合計	△541	△319
四半期包括利益	772	4,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	803	4,665
少数株主に係る四半期包括利益	△31	△45

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	49,180	8,876	10,606	68,663	6,306	74,970	—	74,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,738	6,701	229	23,669	96	23,765	△23,765	—
計	65,919	15,578	10,835	92,333	6,402	98,735	△23,765	74,970
セグメント利益又は損失(△)	2,448	△36	329	2,741	631	3,373	△25	3,347

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△26百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合 計	調 整 額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日 本	欧 州	米 州	計				
売 上 高								
外部顧客への売上高	56,972	11,692	16,857	85,522	8,596	94,119	—	94,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,923	7,639	241	28,804	180	28,984	△28,984	—
計	77,896	19,332	17,098	114,327	8,776	123,104	△28,984	94,119
セグメント利益	5,183	671	1,443	7,298	580	7,879	△215	7,663

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アジア及びオセアニア等の現地法人の事業活動を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額には、主なものとして、セグメント間未実現利益調整額△219百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。